

大正・昭和初め(1912-1945)に日本で記録されたコガネムシ(2) 故高橋寿郎氏遺稿

1937. 澤田玄正 日本産ピロウドコガネ属に就て
日本の甲虫1(1) : 8-33, pl.II-V.

澤田玄正博士の日本産食葉コガネムシ類の再検討がこの論文から始まり、その第一番目として日本産ピロウドコガネ属をまとめられたものであり、その時点における8既知種、1未記録種、2新種、4新変種を記載された。現在では学名の変わるものがある。

p.12. *Serica grisea* Motsch. = *Paraserica* ハイイロピロウドコガネ.

p.13. *S. nigrovariata* Lewis クロホシピロウドコガネ

p.15. *S. nigrovariata* Lewis, var. *nigripennis* Sawada クロホシピロウドコガネ

p.16. *S. boops* Waterhouse ヒゲナガピロウドコガネ

p.18. *S. boops* Waterhouse var. *takagii* 及び var. *unicolor* = *S. sawadai* Nomura (1959) = *S. takagii* Sawada, 1937 (1976).

p.19. *S. karafutoensis* Nijima et Kinoshita エンピロウドコガネ

p.20. *S. foobowana* フウボウピロウドコガネ.

p.21. *S. similis* Lewis = *Nipponoserica* カバイロピロウドコガネ

p.24. *S. similis* Lewis var. *daisensis* = *Nipponoserica daisensis* (Sawada) ダイセンピロウドコガネ.

p.25. *S. orientalis* Motsch. = *Maladera* (s.str.) ヒメピロウドコガネ

p.26. *S. japonica* Motsch. = *Maladera* (s.str.) ピロウドコガネ

p.27. *S. kamiyai* = *Maladera* (s.str.) カミヤピロウドコガネ

p.29. *S. spissigrada* Brenske = *Maladera* (s.str.) *renardi* (Ballion) オオピロウドコガネ

p.31. *S. motschulsky* Brenske = *Maladera* (s.str.) *renardi* (Ballion).

1937. 野村 鎮 日本産コブスジコガネ属に就て
日本の甲虫1(2) : 77-86, pl.IX.

日本産コブスジコガネ属の分類学的研究であり、台湾産1種を含み6種の記載でそのうち1新種の記載がある。

p.79. *Trox* (*Omorgus*) *obscurus* Waterh. = *Omorgus chinensis* (Bohemann) オオコブスジコガネ

p.80. *T.* (s.str.) *setifer* Waterh. = *Trox* アイヌコブスジコガネ

p.81. *T.* (s.str.) *mutsuensis* = *Trox* ムツコブスジコガネ Holotype 1♂, Osore-yama, Prov. Mutsu, 18th July, 1937.

p.82. *T.* (s.str.) *opacotuberculatus* Motsch. = *Trox* ヒメコブスジコガネ

p.83. *T.* (s.str.) *scaber* Linnaeus = *Trox nipponensis* Lewis チビコブスジコガネ

1937. 澤田玄正 日本産シマピロウドコガネ属に就て

日本の甲虫1(2) : 97-102.

日本産シマピロウドコガネ属2種.

Gastroserica herzi (Heyden) = *G. higonina* (Lewis) ヒゴシマピロウドコガネ

Gastroserica brevicornis (Lewis) コヒゲシマピロウドコガネについての分類学的論文.

1937. 澤田玄正 サツマコフキコガネに就て
日本の甲虫1(2) : 102.

本州からの記録であるが、現在の知見では本種は九州並びに五島列島、奄岐、甌島、種子島、屋久島に分布しており、四国には subsp. *shikokuana* Nomura, 1977を産し、本州には分布していないようである。

1937. 神谷一男 日本産甲虫図譜(三)

日本の甲虫1(2) : 61-62, pl.8.

日本産の比較的珍しい3種のコガネムシの原色による図説。ヒゲトハナムグリ、モンアシナガコガネ=アシナガコガネ、オオヒラタハナムグリ。

1937. 平山修次郎 原色千種續昆虫圖譜(三省堂・東京)

当時の日本産クワガタムシ、コガネムシがデータとともに原色で図説されている。

1937. 新島善直・木下栄次郎 熱河省産昆虫類 [VII] こがねむし科

第一次滿蒙學術調査研究団報告V(1)

Part. XI, Art. 55, pp. 1-28, pl. I-IV.

新種記載をも含んだ熱河省産のコガネムシをまとめた論文であるが、日本に分布している種も含まれている(ダイコクコガネ、アカマダラコガネ、コアオハナムグリ、ハナムグリ)。美しい図版もついている。

1938. E.A.Chapin. The nomenclature and taxonomy of the genera of the Scarabaeid Subfamily Glaphyrinae.

Glaphyrinae 亜科の属の検討をされた論文で、日本産のものも含まれている。

1938. 三輪勇四郎 日本甲虫分類学 A5,242p. (ref.p.291-302) (西ヶ原刊行会・東京)

種の分類はないが科及び亜科の分類並びに若干の種についての図説もある。甲虫分類学の名著であるとともに、コガネムシについても重要な文献である。

1938. 松岡勝輝 *Caccobius* 属の甲虫の最新種に就いて

Nippon Kontyu 1(1) : 8-17.

本論文は松村松年博士の発表された(1936) *Caccobius* 属の新種の和文による紹介で、一部図が加えられている。これらの種の現在での取扱いは前掲松村松年博士の論文の項を参照のこと。

1938. 米谷正司 キョウトアヲハナムグリの雌雄に就いて

昆虫界6(47) : 94-97.

1938. 岩瀬和夫 横浜産 *Onthophagus* 属に就いて(第一報)

昆虫界6(49) : 228-233.

この時代の日本産 *Onthophagus* の検索表が記されている。

1938. 関 和一 シナノエムマコガネ及び其の近親のエムマコガネ類数種に就いて

昆虫界6(49) : 233-237.

1938. 米谷正司 リュウキュウハナムグリ属に就いて

昆虫界6(52) : 533-537, pl.264.

1938. 関 公一 北海道より新たに記録されるマダラクワガタとその産地

昆虫界6(52) : 538-542.

1938. 今西芳之 キョウトアオハナムグリの学名に就て

関西昆虫雑誌5(1) : 23-30, pl.3.

Potosia nitidiscutellata Nijjima et Kinoshita なる種は *Protaetia hondana* Arrow と同一のものであり、この両者は *Liocola lenzi* Harold の雄であることを飼育により確定された報文である。現在本種

は *Protaetia (Niponoprotaetia) lenzi* (Harold) なる学名を与えられている。

1938. 平山修次郎 オニクワガタ

虫の世界2(11/12) : 5-6, pl.29.

1938. Z.Tesar. Beitrag zur Kenntniss der pall. Lamellicorninen.

Ent. Nach. 12(3/4) : 165-171.

Hoplosternus kinoshitai なる新種の記載が雲仙産でされているが、現在では *Melolontha satsumaensis* Nijjima et Kinoshita のシノニムとして取り扱われている。

1938. E.A.Chapin. Three Japanese beetles of the genus *Serica* Macleay.

Journ. Wash. Acad. Sci. 28(2) : 66-68.

従来の *S. similis* を♂交尾器の形状によって次の3種に分けることを記述したものである。すなわち、*Serica similis* Lewis, *S. peregrina* Chapin, *S. lewisi* Chapin.

これらは後に澤田玄正博士により(1950)全部 *S. similis* と取り扱うのがよいとされた。最近の研究では *Nipponoserica* 属に入り、それぞれ *N. similis*, *N. peregrina*, *N. daisenensis lewisi* と扱われている。

1938. 澤田玄正 日本産チャイロコガネ属に就いて

日本の甲虫2(1) : 5-26, pl.II-IV.

日本産チャイロコガネ属の分類学的論文であり(朝鮮産1種が含まれている)、9既知種、6新種、計15種について記載されている。現在の知見では6新種のうち3種のみが生き、あと3種は他種のシノニムとなる。既知種のうちにも現在では次のように整理されるのがある。

p.8. *Sericania angulata* (Lewis)

p.9. *S. quadrifoliata* (Lewis)

p.10. *S. galloisi* Nijjima et Kinoshita

p.12. *S. yamauchii*, *S. alternata*, *S. testacea* = *S. fulgida fulgida* Nijjima et Kinoshita

p.13. *S. lewisi* Arrow, *S. lewisi* Arrow var. *yamamotoi* = *S. lewisi* Arrow, *S. fulgida* Nijjima et Kinoshita

p.14. *S. fuscolineata* Motsch.

p.15. *S. sachalinensis* Matsumura

p.16. *S. mimica* Lewis, *S. kamiyai*, *S. quinequefoliata* = *S. mimica* Lewis

p.17. *S. hidana* Nijjima et Kinoshita, *S. takaosana* = *S. mimica* Lewis

1938. 澤田玄正 日本産アシナガコガネ亜科

日本の甲虫2(1) : 33-38, pl.V,VI.

日本産アシナガコガネ亜科の分類学的論文である。当時の日本産, すなわち朝鮮, 台湾産のものも含まれているわけであるが十分な標本でなく, 本論文中では種名のみで記載はほとんど省略されている。5種2変種1新変種が記載された。

p.35. *Hoplia communis* Waterh.=*H. (Euchromoplia)*.p.36. *H. communis* Waterh. var. *maculata* Bates=*H. (E.) communis*.p.37. *H. moerens* Waterh.=*H. (s.str.)*.

p.38. *H. moerens* Waterh. var. *reini* Heyden, 九州産は *H. (s.str.) reini* Heyden として独立種に取り扱われる。その他の産地のもの(九州にも分布する)は *moerens* の f. *nigrofusca* Nomura, f. *flavicanus* Nomura の型に含まれるとされたが, 今では *H. (s.str.) moerens* の中に含まれる。すなわちこの変種は *H. reini* と *H. moerens* に分けられる。

p.39. *H. moerens* Waterh. var. *hakonensis*, 箱根産は *H. (s.str.) hakonensis* Sawada として独立種に扱われる。p.42. *Ectimohoplia obducta* (Motsch.).p.43. *E. rufipes* (Motsch.).p.44. *E. gracilipes* (Lewis).

1938. 山本 弘 ヤマトダイコクに就て

日本の甲虫2(1) : 55-57.

1937年のチェコの Z. Tesar により新種記載された *Copris yamamotoi* Tesar の図譜。もちろんこの種は *C. pecuarius* Lewis のことである。

1938. H.Sawada. Three New Sericania-species from Japan (Scarabaeidae)

Nippon no Kochu 2(2) : 69-70.

本論文で *Sericania* の3新種の記載がある。すなわち,

p.69. *Sericania kirai* (福岡)p.70. *S. chikuzensis* (筑前~九州)p.70. *S. matsuyamana* (本州)

1938. H.Sawada. Description of a New Genus and Species of the Lamellicorn Coleoptera from Shikoku, Japan.

Nippon no Kochu 2(2) : 73-74, pl.IX.

四国から新属新種の記載。すなわち, *Ohkubous quadridenatus*。現在 *O. ferrieri* (Nonfried) の亜種として取り扱われている(この *O. ferrieri* は日本産では6亜種に分けられている)。

1938. 澤田玄正 *Phyllopertha* 属数種の色彩の変化

日本の甲虫2(2) : 76-78.

Phyllopertha 属4種の色彩の変化について解説。もともと学名は現在変わっている。

1938. 野村 鎮 *Aphodius troitzkyi* Jacobson に就いて

日本の甲虫2(2) : 79-80.

日本から初めての記録種 *Aphodius (Dipterna) troitzkyi* Jacobson の図説(マルツヤマグソコガネ)。

1938. 澤田玄正 カブトムシの学名

日本の甲虫2(2) : 80.

1938. 澤田玄正 日本産ピロウドコガネ類2種

日本の甲虫2(2) : 87-90.

日本産2種というが, 当時の日本で1種は台湾産, 他は *Serica nigroguttata* Brenske の解説である。本種は Brenske の *nigroguttata* のことでなく野村氏の *Serica nipponica* (Nomura) のことである。

1938. 澤田玄正 アカピロウドコガネ属の属名及び数種ピロウドコガネの種名

日本の甲虫2(2) : 101.

1938. 江崎悌三・堀 浩・安松京三 原色日本昆虫圖譜(三省堂・東京)

1939. 野村 鎮 *Trichius fasciatus* と *T. japonicus* に就いて

日本の甲虫3(1) : 17-20.

Trichius fasciatus と *T. japonicus* 両種の区別を明確にした。もともと前者は日本に産しない。

1939. S.Nomura. Drei Neue Coprophagiden-arten aus Japan.

Nippon no Kochu 3(1) : 35-37.

広島県尾道産の1新種 *Onthophagus ohbayashii* (pp.35-36)の記載あり=*O. (Matashia)*。

1939. Balthasar, V. Neue Arten der palaearktischen und metropischen coprophagen Scarabaeiden.

Ent. Listy II : 41-47.

p.42. *Copris mulleri* Balthasar なる新種が日本(箕面, 大阪)から記載されている。

中根博士によると *C. acutidens* の早によく一致するとのこと(1955)。後, Balthasar 博士自身 *C. acutidens* と取り扱っている(1964)。

1939. H.Sawada. Some Lamellicorn Beetles of the Subfamily Sericinae.
Nippon no Kochu 3(1) : 48-51.
日本産2新変種の記載及び台湾産1新種の記載。満州からの記録種1種。
著者が *Sericania testacea* として新種命名された種(1938)を *S. fulgida* の新変種とされたが、現在 *S. fulgida* の亜種とされている。さらに新変種 *var. lineata* も *S. fulgida* の亜種となる。
1939. 近藤英夫 東京産 Melolonthides 雑考 (I,II)
虫の世界3(3/4) : 33-35.
Mimela flavilabris Waterhouse 及び *Anomala multistriata* Motschulsky 2種の記載。
1939. 平山修次郎 本館所蔵日本産鍬形虫科の解説(I)
虫の世界3(7/8) : 123-127, pl.12.
平山博物館に所蔵されている日本産クワガタムシ類の図説である。もちろん当時のことであるから台湾、朝鮮産も含まれている。本報文では *Nigidius lewisi* Boileau が図説されている。
1939. 平山修次郎 本館所蔵日本産鍬形虫科の解説(II)
虫の世界3(9/10) : 141-143, pl.6.
Figulus binodulus Waterhouse, *F. punctatus* Waterhouse の2種が図説されている。
1939. 澤野芳介・米谷正司 こがねむしの一新変種に就いて
昆虫界7(62) : 205-206.
Mimela splenden Gyllenhal の黒色変種 *var. takemurai* Sawano et Kometani の記載。現在は一応原種の中に含めて扱っている。
1939. 加藤正世 金亀子図説(3,4)
昆虫界7(67) : 540-541. 7(68) : 631-632.
Onthophagus japonicus Harold, *O. handai* Matsu-mura f. *uedanus* Matsumura = *O. (s.str.) olsoufieffi* Boucomonto の図説。
1939. 三輪勇四郎・中條道夫 日本産鞘翅目分類目録, Pars.5. 金亀子虫科(野田書房・台北)
この時点に到るまでの知見に基づいての目録で、当時の日本であるから朝鮮、台湾、樺太産も含まれている。大変な労作であるとともに重要な文献となっている。もちろん現在からすれば分類法、学名の訂正など多々あるが、これはやむを得ないことである。日本産のコガネムシ目録としては初めてのものになる。
1939. 澤田玄正 日本産ピロウドコガネ亜科の分布
瑞穂の科学1(1) : 12-18.
ピロウドコガネ亜科の当時の分布状況を考察したもので、現在の知見ではかなり変わるし属の分け方も異なる。
1939. H.Sawada. The Valginae of the Japanese Empire (Coleoptera, Scarabaeus)
Trans. Kansai Ent. Soc.(8) : 81-91, pl.X.
日本産 Valginae 亜科の再検討である。記載されたのは4属10種で、うち2種は新種であるが、ともに台湾のものである。
現在の日本産は次のとおりである。
p.82. *Valgus hemipterus* (Linnaeus) = *Neovalgus fumosus* (Lewis).
p.85. *Dasyvalgus tuberculatus* (Lewis).
p.86. *D. formosanus* Moser.
p.87. *D. angusticollis* (Waterh.) = *Nipponovalgus*.
p.90. *Chronovalgus fumosus* (Lewis) = *Neovalgus*.
p.91. *C. laetus* Arrow = *Neovalgus*.
1940. 近藤英夫 ウスキイロコガネに就いて
虫の世界3(11/12) : 178-179.
Phyllopertha pallidipennis Reitter = *Blitopertha orientalis* (Waterhouse) の記載。
1940. 平山修次郎 本館所蔵日本産鍬形虫科の解説(III)
虫の世界3(11/12) : 174-177, pl.19.
Platycerus delicatulus Lewis, *Aesalus asiaticus* Lewis 2種の記載がある。
1940. 平山修次郎 原色甲虫圖譜(三省堂・東京)
pl.28, f.28 に *Copris cariniceps* Felsche (Harold となっている)が鹿児島県城山産として図説されている。現在日本に産するかどうかは疑問である。
1940. 近藤英夫 *Gnorimus subopacus* Motschulsky に就いて
昆虫界8(78) : 517-519.
本種を北海道、本州に産すると報じているが、日本産は *Gnorimus subopacus viridiopacus* (Lewis) とその亜種になり、*G. subopacus* Motschulsky そのものの日本産はないようである。

1942. H.Sawada. A Revision of the Melolonthine Beetles of the genus *Apogonia* in the Japanese Empire.

Jour. Agr. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku 1(3) : 267-280, pl.X.

日本産 *Apogonia* の再検討であり、当時の日本、台湾、朝鮮産を含む13種を記載し、うち4新種の記載がある。

p.270. *Apogonia takasagoensis* (Formosa)

p.271. *A. tanigawaensis* (Tanigawa-dake Gumma-ken).

石田正明・藤岡昌介両氏は本州(関東以北)に分布する種とされた(1988)が、小林裕和氏は命名者澤田玄正博士の勘違いで、本種は台湾産であるとされ(マエソリカンショコガネ)、石田正明・藤岡昌介氏が *tanigawaensis* のシノニムとされた *A. ikedai* H.Kobayashi が日本にいる種だとしている(1988)。

p.272. *A. bicavata* Arrow, *A. ishiharai* (Shikoku).

p.273. *A. amida* Lewis.

p.274. *A. bicarinata* Lewis, *A. formosana* Moser (Foemosa).

p.275. *A. sauteri* Moser (Formosa), *A. niponica* Lewis, 本種は台湾で分布が確認されているが、日本での産は確認されていない。

p.276. *A. cupreoviridis* Kolbe (Korea), *A. kamiyai* (Formosa).

p.277. *A. chinensis* Moser (China, Korea, Manchuria).

1940. Chûjo, M. Some new and hitherto unrecorded species of the Scarabaeid-Beetles from Formosa.

Nippon no Kochu 3(2) : 75-77.

表題のごとく台湾産コガネムシの新しい記録と新変種の記載であるが、その中でp.76に *Mimela splendens* (Gyllenhal) の新変種 var. *murasaki* Chujo が Mt. Sozan, Taihoku-Syu より1♂にて記載されている。この変種は日本にも産する。

同じ種の var. *cyanicollis* Ohaus は台湾では特に区別して扱っていない。

1941. Arrow, G.J. Systematic Notes on the Cetoniid Coleoptera and Description of a few new species.

Ann. Mag. Nat. Hist. VIII(11) : 73-88.

今西芳之が Arrow の同定による結果を1938年に発表しているとおり、本報文のp.79に Arrow 自身の手により *Protaetia lenzi* (Harold) が1♀によって記載された。さらに *P. hondana* Arrow (今西

芳之により大阪産アベマキ *Quercus variabilis* の樹液より採集された標本による)はこの種のみにあたることを示している。

1941. 澤田玄正 日本産ヒラタハナムグリ亜科の研究(第2報)

日本の甲虫4(1) : 1-14, pl.1.

日本産ヒラタハナムグリ亜科を検討され、1新属、4新種、2新亜種を記載された(うち台湾産3新種、1新亜種)。従来 *Charitovalgus* に属していた種 *pictus* を *Valgus* に入れ、日本産を3亜種に処理した。すなわち、*V. pictus laetus* (Arrow) (Amami-Oshima) = *Neovalgus laeteus*, *V. pictus shikokuensis* (Shikoku), *V. pictus fumosus* (Lewis) (Honshu, Hokkaido, Kyushu, Korea)。ともに *Neovalgus fumosus*。

Valgus angusticollis を新属 *Nipponovalgus* を設けてそこに属せしめ、一新属を加えた。

Nipponovalgus angusticollis (Waterhouse) (Honshu, Shikoku, Kyushu, Tsushima, Saishu-to, Korea), *N. yonakuniensis* (Yonakuni Is.)。

1941. 八幡英夫 内地産 *Aphodius* 属の種の記載(1)

虫の世界4(9/10) : 151-154.

日本産2種の *Aphodius*, すなわち *A. (Teuchestes) brachysomus* Solskyi 及び *A. (Trichaphodius) pilosus* Harold = *A. (Balthasarianus) eccoptyus* Bates の記載。

1941. Balthasar, V. Eine Reiche von neuen coprophagen Scarabaeiden.

Ent. Blätter. 37(2) : 84-93.

p.92に *Myrhessus samurai* Balthasar, Umgebung von Tokyo = *Rhyssemus* の新種記載がある。

1941. Chûjo, M. Description of a new Scarabaeid-Beetles from Amami-Ōshima.

Trans. Nat. Hist. Soc. Formosa 31(208) : 35-36.

奄美大島より *Paratrichius ōshimanus* Chujo の記載であるが、現在 *P. duplicatus* Lewis の学名が使用されている。

1941. 近藤英夫 内地産 *Anomala* 属の四種に就いて

昆虫界9(87) : 292-298.

Anomala daimiana, *A. leucens*, *A. geniculata*, *A. difficilis* = *Mimela* の4種について詳しく分類された。

1941. 中根猛彦・八幡英夫 *Anomala schönfeldti* Ohaus に就いて
昆虫界9(88) : 366-369.

1941. 八幡英夫 オホチャイロハナムグリの学名に就いて
昆虫界9(89):439.

1941. 加藤正世 金亀子圖説(8)
昆虫界9(92) : 688-689.
Bolbocerosoma nigroplagiatum Waterhouse = *B. (Bolbocrodema)* の図説.

1941. 澤田玄正 ヒメコガネとハンノキコガネに就いて
昆虫14(5/6) : 227-229.
従来別種として取り扱っていた *Anomala rufocuprea* Motschulsky 及び *Anomala motschulskyi* Harold が同一種であることを論じた。現在もそのように取り扱っている。

1941. H.Sawada. A Revision of the Ruteline Beetles of the Genus *Phyllopertha* in the Japanese Empire.
Nippon no Kochu 4(1) : 43-58, pl.II-V.

日本産, すなわち当時の日本・台湾・朝鮮を含む地域の *Phyllopertha* 属の種の検討である。3新種(うち2種は台湾産)の記載がある。現在の知見で属名の変わるものもある。日本産は次のごとき種が取り扱われている。

p.44. *Phyllopertha pubicollis* (Water.) = *Pragopertha*
p.45. *P. intermixta* (Arrow)
p.46. *P. irregularis* (Water.)
p.48. *P. diversa* Water.
p.49. *P. ohdaiensis* = *Blitopertha*
p.52. *P. okinawaensis* Ohaus = *Blitopertha*
p.53. *P. orientalis* Waterh. = *Blitopertha*
p.55. *P. octescostata* Burmeister = *Anomala octiescostata*
p.56. *P. sieversi* (Heyden) = *Anomala* 本種は現在の日本に分布していないと考えられる。

1941. 八幡英夫 日本産 *Protaetia* 属の種に就いて(I・II)
昆虫15(2) : 75-84, 15(3) : 114-126.

従来 *Potosia*, *Liocola*, *Pyropotosia*, *Protaetia* のそれぞれの属として取り扱われていた種を全てまとめて *Protaetia* として取り扱い, 第1報では日本産6種, 第2報では当時の日本内地以外の産の種を記載し, 2新種を記載した。

そのうち, 台湾, 朝鮮産のものは省略するとして, 記録された種名を次に示してみる(現在 *Protaetia* 属は多くの亜属に分けられて取り扱われている)

p.79. *Protaetia lenzi* Harold = *Protaetia (Nipponoprotaetia)*
P. orientalis Gory et. Percheron = *P. (Colopototia)*
p.81. *P. brevitarsis* Lewis = *P. (Liocola)*
p.82. *P. cataphracta* Arrow = *P. (Liocola)*
p.83. *P. imasperata* Lewis = *P. (Liocola) lugubris imasperata*
p.84. *P. miyakoensis* Nijima et Kinoshita = *P. (Liocola)*
p.117. *P. pryeri* Janson = *P. (Pyropotosia)*
P. lewisi Janson = *P. (Calopototia)*
p.118. *P. exasperata* Fairmaire = *P. (Potosia)*
P. ishigakia Fairmaire = *P. (Pseudocolopototia)*
p.121. *P. brevitarsis* Lewis ab. *seulensis* Kolbe = *P. (Liocola) brevitarsis seulensis*
p.122. *P. nitidicosta* (Okinawa) = *P. (Pyropotosia) pryeri nitidicosta*

1941. 田川 宏 本邦産トラハナムグリ亜科に就いて(1)
九州昆虫同好会々誌3(1) : 9-23.

当時の日本である台湾産で鹿野忠雄博士によって記載された *Trichius elegans* Kano, 1931 ミドリトラハナムグリをタイプに新たにニセトラハナムグリ属 *Epitrichius* Tagawa を新設され, 同じく台湾に産するタイヘイザントラハナムグリ *T. elegans* var. *taiheizanensis* Kano, 1931, タイワントラハナムグリ *T. bifasciatus* Moser, 1901 もこの属に含めておられる。

その後, 長い間このニセトラハナムグリ属は扱われていなかったが, 最近(1989)の石田正明・藤岡昌介両氏の「日本産コガネムシ主科目録」でアマミニセトラハナムグリ(新称) *Epitrichius lagopus* (Fairmaire, 1877) がこの属の種として扱われている。

1942. 八幡英夫 *Caelius* 属に就いて(鞘翅目・金亀子虫科)
昆虫界10(98) : 217-219.

Caelius denticollis Lewis の図説で Lewis の記載以後初めてののものである。

1942. 八幡英夫 日本産 *Saprosites* 属に就いて
昆虫界10(99) : 281-286.

Saprosites japonicus Waterhouse, *A. narae* Lewis の日本産2種と *S. formoensis* Nomura 及び *S. ya-*

noi Nomura 2種の台湾産が記載されている。

1942. S.Nomura. Die Coprophagen Scarabaeiden aus Nord-Korea

Mushi 14(2) : 116-117.

北鮮からの食糞コガネムシの記録であるが、本報文で *Aphodius (Nialus) inouei* Nomura の新種記載が日本産標本を Holotype として発表されている。現在 *Liothorax* 亜属。

1942. H.Sawada. Two new Cetonine Beetles of the Genus Glycyphana

Zool. Mag. 54(6) : 240-242.

Glycyphana 属の台湾産1新種及び日本産1新亜種の記載であり、亜種の方は現在日本に産する。

p.240. *Glycyphana gracilis* (Formosa)

p.241. *G. gracilis viridis* (Japan)

1942. H.Yawata. Notes on the Glaphyrinae of Japan with description of a new Genus and two New Species

Trans. Kasai Ent. Soc. 12(1) : 33-37.

従来、日本から知られていた *Anthyphna pectinata* Lewis と新属 *Anthyphnoides*、並びにこれに属する2新種 *A. splendens* (与那国島)、*A. auratus* (台湾) の記載であるが、1950年、澤田玄正博士の研究により前者は *Anthicomma pectinata* (Lewis)、後者は *Lichnanthe splendens* (Yawata) と訂正された。現在では後者の *splendens* も *Amphicomma* 属に扱われている。

1942. H.Sawada. Two New Rutelline Beetles from Japan.

Trans. Kasai Ent. Soc. 12(1) : 38-40.

日本産2新種の記載である。すなわち *Mimela takamura* (Shikoku)、*Anomala osakana* (Osaka)。

前者は本州、四国、九州に、後者は本州(中部以南)、九州に分布している。

1942. 澤田玄正 ドウガネとその近似種

関西昆虫学会々報12(1) : 41-49.

日本産ドウガネとそれによく似た種、計4種の解説である。本論文で次の1新型の記載がある。すなわち、*Anomala viridana* (Kolbe) f. *izuensis* である。野村 鎮によると(1969)、*A. viridana* は *A. japonica* Arrow (1913) と異なる。従って日本産は *A. japonica* の学名を使用すべきであるとされ、この変種は *A. japonica izuensis* と亜種扱いとなり form として基本型以外2型が命名された。いずれも伊豆諸島産である。

1943. 野村 鎮 Aegialiinae に就いて

むし XV : 109-112.

Aegialiinae 亜科の2種 *Aegialia nitida* Waterhouse, *A. hybrida* Reitter の記載。後者は満州産として記録されているが、本種は北海道にも産する。

学名は *Psammoparus comis* (Lewis) となる。さらに Chirominae 亜科とされていた *Caelius* 属も本亜科に入ると取り扱われ、*C. denticollis* Lewis の記載をされている。

1943. Yawata, H. Eine Neue Aphodius art aus Japan (Coleoptera, Scarabaeidae)

Trans. Kasai Ent. Soc. 13(2) : 2.

Aphodius matsuzawai を本州長野産で新種の記載をされたが、現在 *Aphodius (Acrossus) rufipes* (Linne) のシノニムとして扱われている。

1943. 澤田玄正 ヒメトラハナムグリ *Trichius succinctus* (Pallas) に就いて

関西昆虫学会々報13(2) : 4-7.

従来、*Trichius abdominalis* Menetries として知られていた日本産ヒメトラハナムグリがチョウセンヒメトラハナムグリ *T. succinctus* (Pallas) と何ら区別ができないことを検討し、同一種として後者の学名を採用することを論ぜられた。現在の種は *Lasiotrichius* 属となっている。

1943. 澤田玄正 2種の *Anomala* 属金亀子に就いて

関西昆虫学会々報14(1) : 14-19.

日本産 *Anomala lucens* Ballion 及び *Anomala geniculata* (Motschulsky) の2種についての解説。

1944. 中根猛彦 糞虫類覚書(I)

昆虫世界48(557) : 15.

Aphodis brachysomus Solsky = *Aphodius (Teu-chestes)* の色彩についての記録と朝鮮産 *Aphodius* 及び *Onthophagus* の記録。

以上、大正・昭和初めにおける日本産コガネムシの研究の状況を文献によって眺めてみた。1930年以後終戦(1945)までの間は日本産コガネムシの再検討時代といえる。1945年以後はいわゆる戦争終了後の研究になる時代であり、これらについては稿を改めて概説したい。